

Tsumoo

基本設計書（公開用）

フェーズ1 MVP / 制作中

項目	内容
製品名	Tsumoo
読み方	つもー
文書種別	基本設計書（公開用）
対象フェーズ	フェーズ1 MVP
公開用途	制作中プロダクトの設計・実装方針を示すため
最終更新	2026年6月5日

公開用資料について

本資料は、Tsumoo の開発用基本設計書をもとに、外部公開に適した範囲へ抜粋・再構成した圧縮版です。

実際の開発用資料には、より詳細な仕様、設計判断、実装方針、内部向けメモを含みますが、本資料では制作中プロダクトの設計方針、画面構成、技術構成、主な決定事項が伝わる内容に整理しています。

目次

章	内容	頁
1	対象範囲	4
2	設計方針	4
2.1	体験方針	4
2.2	情報設計方針	4
2.3	アクセス制御方針	4
3	機能一覧	5
4	画面一覧	5
4.1	画面分類	5
4.2	公開画面	5
4.3	認証画面	6
4.4	認証後画面	6
4.5	認証後の主要操作と画面の対応	6
5	システム構成	7
5.1	想定構成	7
5.2	技術スタック	7
5.3	描画方針	7
5.4	データ観点の基本方針	7
6	セキュリティ方針	7
7	フェーズ1では対応しない範囲	7
8	主な決定事項	9

1. 対象範囲

- 対象フェーズはフェーズ1 MVP とする
- 対象は公開トップページ、認証、ToDo管理、ToDo一覧、達成状況・振り返り、アカウント設定とする
- 基本設計では、機能、画面、URL、認証後レイアウト、システム構成、セキュリティ方針を整理する
- 詳細な UI デザイン、データ構造の詳細、API の詳細仕様、実装コードは本書の対象外とする

Tsumoo は、毎日の小さな ToDo や、仕事・学習で使う少し重いタスクを手軽に記録し、完了した行動を気持ちよく積み上げ、あとから振り返れるセルフマネジメントアプリとして設計する。

フェーズ1では、機能を広げすぎず、入力、完了、振り返りの核となる体験に集中する。

2. 設計方針

2.1 体験方針

- 入力は速い
- 完了は気持ちいい
- 振り返りは強い

2.2 情報設計方針

- ToDo は、チェック型と軽量なステータス型の2種類を扱う
- 作成時の入力項目は最小限とし、詳細情報は作成後に編集できる構成にする
- 画面名は ToDo一覧 とし、今日 は画面名ではなく絞り込み条件として扱う
- 今日の達成状況は、作成日ではなく完了日を基準に集計する
- 個人情報は極力持たず、ログインに必要な最小限の情報と、ユーザー本人が登録する ToDo 情報のみを扱う

2.3 アクセス制御方針

- 未ログインユーザーは公開トップページと認証関連画面のみ利用できる
- ログイン済みユーザーは ToDo一覧、振り返り、設定画面へアクセスできる
- 認証が必要な画面に未ログインでアクセスした場合はログイン画面へ誘導する
- ユーザーごとの ToDo データは分離し、他ユーザーのデータへアクセスできないようにする

3. 機能一覧

機能	概要
公開トップページ	Tsumoo の価値と利用イメージを伝え、登録・ログインへ誘導する
認証	ユーザー登録、ログイン、ログアウト、Google 認証、メールアドレス / パスワード認証を扱う
ToDo管理	チェック型 ToDo と軽量なステータス型 ToDo の作成、編集、削除、完了を扱う
ToDo一覧	作成した ToDo を一覧で確認し、状態や日付条件で絞り込み、素早く完了できるようにする
達成状況・振り返り	今日の完了数、達成率、直近7日間の完了状況を確認できるようにする
アカウント設定	アカウント情報、ログアウト、退会などの低頻度操作を整理して扱う

4. 画面一覧

4.1 画面分類

分類	役割
公開画面	未ログインユーザーに Tsumoo の概要と利用イメージを伝える
認証画面	登録、ログイン、確認メール、パスワード再設定を扱う
認証後画面	ToDo の作成、一覧確認、完了、振り返り、設定を扱う

4.2 公開画面

画面ID	画面名	概要
PUB-001	公開トップページ	Tsumoo のコンセプト、特徴、利用イメージを表示する

4.3 認証画面

画面ID	画面名	概要
AUTH-001	ユーザー登録	メールアドレス / パスワード登録と Google 認証開始を行う
AUTH-002	ログイン	メールアドレス / パスワードログインと Google ログインを行う
AUTH-003	登録確認メール送信完了	確認メール送信済みであることを表示する
AUTH-004	登録完了	メール確認完了を表示し、ダッシュボードへ誘導する
AUTH-005	パスワードリセット申請	再設定用メールを送信する
AUTH-006	パスワード再設定	再設定用リンクから新しいパスワードを設定する
AUTH-007	パスワード再設定完了	再設定完了を表示し、ログイン画面へ誘導する

4.4 認証後画面

画面ID	画面名	概要	優先度
APP-001	ダッシュボード	ToDo一覧、クイック登録、今日の達成状況を扱う	高
APP-002	ToDo登録	スマホ中心に1件の ToDo を素早く登録する	高
APP-003	ToDo一括登録	PC中心に複数の ToDo をまとめて登録する	高
APP-004	ToDo編集	作成済み ToDo の詳細、日付、状態を編集する	高
APP-005	振り返り	今日と直近7日間の達成状況を確認する	中
APP-006	設定	アカウント情報、ログアウト、退会を扱う	高

4.5 認証後の主要操作と画面の対応

操作	主画面	概要
ToDoを確認する	ダッシュボード	今日に関する ToDo を中心に表示する
ToDoをすぐ作る	ダッシュボード / ToDo登録	軽い入力で ToDo を作成する
複数 ToDo を登録する	ToDo一括登録	PCで複数行をまとめて入力する
ToDoを完了する	ダッシュボード	一覧上で素早く完了する
ToDoを編集する	ToDo編集	任意項目や状態を編集する
達成状況を見る	ダッシュボード / 振り返り	今日と直近7日間の積み上げを確認する
アカウント設定	設定	アカウント情報やログアウトを扱う

5. システム構成

5.1 想定構成

フェーズ1では、公開トップページ、認証画面、認証後画面を Next.js で構成し、認証、ToDo 管理、振り返り集計などの業務ロジックは Laravel 側で扱う。

5.2 技術スタック

領域	技術	主な役割
フロントエンド	Next.js / TypeScript	UI、ルーティング、画面状態、API 呼び出し
バックエンド	Laravel / PHP	API、認証、業務ロジック、集計処理
データベース	MySQL	ユーザー情報、ToDo、完了履歴、集計に必要なデータを保存する
認証	Laravel の認証関連機能	セッション管理、メール認証、外部認証
開発環境	Docker	フロントエンド、バックエンド、DB をローカルで起動する

5.3 描画方針

- 公開トップページは、未ログインユーザーが最初に見るページとして、読み込みの軽さと分かりやすさを重視する
- 認証画面は通常のページ遷移を基本とする
- 認証後画面は SPA 寄りの操作感を重視する
- フェーズ1の中心は認証後の ToDo 体験であり、認証後画面を無理に SSR 中心にしない

5.4 データ観点の基本方針

- ユーザーごとの ToDo データを分離する
- 今日の達成状況は完了日を基準に扱う
- 直近7日間の振り返りは、日別の完了件数を中心に扱う
- フェーズ1では個人情報を極力持たない

6. セキュリティ方針

- 個人情報は極力持たない
- 本名、住所、電話番号、生年月日は扱わない
- 認証情報を安全に扱う
- ユーザーごとのデータを分離する
- 認証前ユーザーと認証後ユーザーの利用範囲を明確に分ける
- 退会時は、ユーザー本人の ToDo データを削除できるようにする

7. フェーズ1では対応しない範囲

- 長期目標管理

- 習慣テンプレート
- 高度なりマインダー
- SNS共有
- PDF出力
- チーム機能
- ユーザー同士のやり取り
- 公開プロフィール
- 管理者画面
- 課金機能

8. 主な決定事項

8.1 フェーズ1はチェック型 ToDo と軽量なステータス型 ToDo に集中する

決定事項

フェーズ1では、チェック型 ToDo と軽量なステータス型 ToDo を扱う。

理由

毎日の小さな ToDo だけでなく、仕事や学習で使う少し重いタスクにも対応するため。

補足

フェーズ1では高度なワークフローには広げず、入力、完了、振り返りの体験を優先する。

8.2 認証後の起点画面はダッシュボードにする

決定事項

認証後の初期表示画面はダッシュボードとし、ToDo一覧、クイック登録、今日の達成状況を同じ画面で扱う。

理由

Tsumoo の中心体験は、ToDo をすぐ確認し、すぐ追加し、すぐ完了する流れにあるため。

8.3 スマホとPCで体験の主役を分ける

決定事項

スマホでは即時追加・即時完了、PCでは整理・計画・一括登録・振り返りを重視する。

理由

スマホとPCでは利用シーン、入力速度、表示できる情報量が異なるため。

補足

機能を分断するのではなく、同じ機能を異なる操作密度で提供する。

8.4 今日の達成状況は完了日基準で扱う

決定事項

今日の達成状況は、作成日ではなく完了日を基準に集計する。

理由

昨日作成した ToDo を今日完了した場合でも、今日の積み上げとして扱うため。

8.5 個人情報は極力持たない

決定事項

フェーズ1では、本名、住所、電話番号、生年月日、勤務先情報、公開プロフィール、ユーザー同士のやり取りを扱わない。

理由

ポートフォリオとして公開しやすく、将来製品化する場合でも責任範囲を軽くするため。

補足

ログインに必要な最小限の情報と、ユーザー本人が登録する ToDo 情報のみを扱う。

8.6 技術スタックは Next.js / Laravel / MySQL を採用する

決定事項

フェーズ1では、Next.js / TypeScript、Laravel / PHP、MySQL、Docker を中心に採用する。

理由

認証、一覧、編集、集計といったフェーズ1の要件を満たしやすく、入力、完了、振り返りの体験設計に集中しやすいため。

8.7 完了時はカード全体で気持ちよさを表現する

決定事項

完了ボタン押下時は、チェック状態の変化、ToDoカード全体の短い反応、カード枠と背景のグリーン表示、達成状況サマリーの即時更新を行う。

理由

チェックボックスだけでなく ToDo 全体が反応することで、できたことを積んだ感覚を強めるため。

補足

全面面演出や長いアニメーションなど、毎日使ううえで重く感じる演出はフェーズ1では採用しない。

8.8 今日の達成状況はサマリーとして表示する

決定事項

ToDo一覧には、今日の完了数、今日の対象 ToDo 数、今日の達成率をまとめたサマリーを表示する。

理由

一覧で作業しながら、その日の積み上げをすぐ確認できるようにするため。

補足

今日の完了数は完了日を基準に集計する。対象 ToDo 数が 0 件の場合、達成率は数値として扱わず、対象がない状態として表示する。

8.9 直近7日間は日別の完了件数で表示する

決定事項

直近7日間の振り返りは、日別の完了件数が分かる簡易グラフと日別リストで表示する。

理由

フェーズ1では高度な分析よりも、積み上げが一目で分かることを優先するため。

8.10 ステータス型 ToDo は一覧上に状態ラベルを表示する

決定事項

ステータス型 ToDo は、一覧上でタイトルの近くに 未着手 / 進行中 / 完了 / 保留 の状態ラベルを表示する。完了済みになった場合は、状態ラベルより完了状態の見え方を優先する。

理由

編集画面を開かなくても、仕事・学習タスクの進行状態を把握できるようにするため。

8.11 スマホのクイック登録は初期表示で使える状態にする

決定事項

スマホのクイック登録エリアは初期表示で使える状態にし、タイトル入力と登録ボタンをすぐ操作できるようにする。

理由

スマホでは思いついた ToDo をすぐ追加する体験を優先するため。